

# 日本医史学会関西支部 2022年 秋季学術集会

共催／京都医学史研究会・岡山医学史研究会

日時 令和4年12月4日(日)

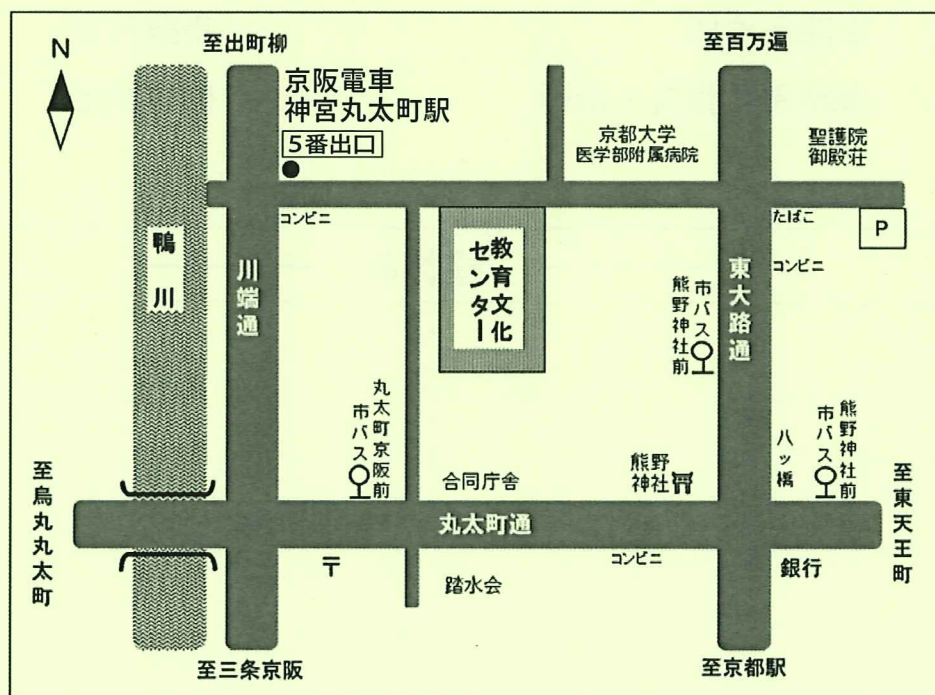
受付 午前8時45分 開演：午前9時

会場 京都教育文化センター 301号室

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-1-3

☎ 075-771-4221

参加費 2,000円 学生・院生 無料



# プログラム (敬称略)

9時00分 《一般演題》 — 座長 — 今井 秀

1. 日本における打膿の展開 — 経過報告 谷田保啓 (名古屋市)
2. 「宋代医家竇漢卿は2人いた」仮説の証明 高橋正子 (名古屋市)
3. 文化五年の解剖記録について 西嶋佑太郎 (京都市)
4. 野口英世 細菌学者の生涯 葉山美知子 (京都市)

10時04分 — 座長 — 田中祐尾

5. 享保の飢饉と救荒作物甘薯について  
～ 作物奉行深見有隣と青木昆陽の功績 今井 秀 (豊中市)
6. 研医会図書館所蔵二十四冊本『黄帝内経太素』について  
安部郁子 (川崎市)
7. 小森桃塙の『泰西方鑑』と藤林晋山の『西医方選』の  
引用蘭書を解析して分かったこと 相川忠臣 (長崎市)
8. 我が国における初期の医学書の出版 松岡尚則 (高知市)

11時08分 関西支部総会

支部長挨拶	猪飼祥夫
事務局長報告・伝達	田中祐尾

————— 昼休み —————

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

13時00分 《特別講演》 — 座長 — 猪飼祥夫（支部長）

## 医のある風景

～『大塚薬方』20 数回連載中から～

演者 岡山医学史研究会代表 石田純郎

14時10分

— 座長 — 島山奈緒子

9. 京都療病院医師ヨンケル『瑞穂草』について 八木聖弥（京都市）
10. 林一鳥『腫病応用之論』について  
池内早紀子（堺市）山本優紀子（長崎市）
11. 宇佐美主善『傷寒瘟疫病心得草』（文政10年）にみる看病人の心得  
平尾真智子（都留市）

14時58分

— 座長 — 三鬼丈知

12. 『僧尼孽海』成立小攷 永塚憲治（函館市）
13. 「疔」と「癩」について  
島山奈緒子（京都市）池内早紀子（堺市）山本優紀子（長崎市）
14. 英国二十世紀中葉の周縁の医師たちについて 香戸美智子（高石市）
15. 海昏侯竹簡の七損八益 猪飼祥夫（京都市）

16時02分 閉会の辞

猪飼祥夫

### 《紙上発表》

1. スウェーデンにおける発達障害児支援組織Brygganとその評価  
小野尚香（豊中市）駒松仁子（国立看護大）
2. 森鼻宗次『皮下注射用略』（明治六年）とその後の展開  
田中祐尾（八尾市）
3. 金丹と陰丹と白い粉 三鬼丈知（大阪市）
4. 『秋山記行』にみる医療事情 西巻明彦（東京都）

## 《注意事項》

- ▼ 演者の持ち時間は口演15分/質疑1分の計16分です。  
座長は終了1分前にアラームをかけ、タイムアップ後は質疑応答などフロアで続行してください。
- ▼ 遠方の演者など当日順番差し替えの場合あり。ご了承ください。
- ▼ 発表者は当日抄録を必ず提出してください。内容の変更は自由です。  
次々号『醫譚』に掲載します。概ね2頁2,600字以内でお出してください。  
抄録とは別に絵図など多い人には『醫譚』への完全投稿を期待します。  
この場合『醫譚』 「投稿規定」をお読み下さい。
- ▼ 発表はパワーポイントに限ります。当日データを受付へ。  
紙資料の配布は40部、原則当日持参ですが、困難なら予めご相談ください。
- ▼ 『醫譚』の1938年創刊以降のバックナンバーUSBの頒布を受付で行います。  
3,000円です。
- ▼ 施設内で食事は出来ませんので、皆様外食となります。  
懇親会はありません。

## <連絡先>

### ○ 日本医史学会関西支部事務局

〒581-0003 大阪府八尾市本町5-1-7 田中院内

FAX 072-993-1237 事務局長携帯 090-5669-8213

E-mail sachio-tanaka@umin.ac.jp

## <お願い>

会員名簿整備のため 氏名・住所・所属・電話番号・E-mailアドレスを事務局 ([sachio-tanaka@umin.ac.jp](mailto:sachio-tanaka@umin.ac.jp)) までお送り下さい。

E-mailアドレスが不明な方が多数おられますのでご協力お願いします。

また、新規会員のご紹介等よろしくお願いたします。

## 《MEMO》